



●自己点検（個別制御方式自動点検）の開始方法

※自己点検の開始前に次の項目を確認してください。  
 下記①～③を満たさない場合は、点検開始できません。  
 ①充電モニター（緑）が点灯している。（蓄電池の充電がされている）  
 ②ランプモニター（赤）が消灯している。（LEDが正常に接続されている）  
 ③操作前に連続48時間以上の充電がされている。  
 ※リモコンによる点検機能はありません。

▽LEDモニター表示図式例

点灯	
消灯	
点滅	

スタンバイモードとは・・・	電源通電時に点検スイッチを5秒間引き続けた後のLEDモニター（赤・緑）が同時点滅している状態です。5秒間継続します。
点検モードとは・・・	スタンバイモード（充電およびランプのLEDモニターが同時点滅）時に再度点検スイッチを引くと自己点検モードに入ります。点検スイッチから手を離しても非常点灯（充電およびランプのLEDモニターが交互点滅）を継続している状態です。

1. 点検スイッチによる点検

	作業内容	LED	モニター表示		説明
			充電（緑）	ランプ（赤）	
1	点検スイッチを5秒間引き続けてください。 (スタンバイモードに移行します。)	非常点灯	消灯 ●	消灯 ●	点検スイッチを引くと、充電モニターは消灯しますが、5秒間引き続けると充電モニターとランプモニターが同時に点滅を開始し、スタンバイモードに入ったことをお知らせします。
2	スタンバイモードに入ったら点検スイッチから手を離してください。 (スイッチを引いたままの状態) (スイッチを解除した状態)	非常点灯	緑・赤 同時点滅 		スタンバイモードは約5秒間です。点検モードに移行する前にスタンバイモードが解除された場合は1の操作からやり直してください。充電モニターとランプモニターが交互に点滅を開始し、点検開始したことをお知らせします。
		常用点灯			
3	スタンバイモードの時に再度点検スイッチを引いてください。(点検開始)	非常点灯	緑・赤 交互点滅 		
4	点検が正常に終了すると通常モードに自動的に復帰します。充電モニターが点灯していれば通常モードに復帰しています。(点検終了)	常用点灯	点灯	消灯 ●	充電モニターが点滅している場合は蓄電池容量が減少しています。新しいものと交換してください。※

※蓄電池の交換方法は取扱説明書をご参照ください。  
 分電盤を落として蓄電池の交換をされた場合は、充電モニターが点滅し続けますので点検スイッチを5秒間に3回引いて正常状態（充電モニターが点灯）に戻してください。

即時点灯性 (切替動作試験)	<ul style="list-style-type: none"> <li>54%電圧で非常点灯へ切替</li> <li>0.2秒以内に非常点灯へ切替</li> </ul>
高温動作	<ul style="list-style-type: none"> <li>周囲温度70℃で64分以上</li> <li>照度維持率50%以上を確保</li> </ul>
照度1ルクスの確保	<ul style="list-style-type: none"> <li>常温時に床面照度2lxを確保</li> </ul>

電圧 (V)	適合ランプ	質量 (kg)	形名	LEDTS-41864YK-LS9	
100   242	LS	7.8	品名	東芝LED非常用照明器具（電池内蔵） 型番:LDL40S・N/29/38-G2x1 型番:LDL40S・N/29/38-G2x1	
承認	担当	図番	AA2018-60425-03 (2/2)		
松田	世良	<b>東芝ライテック株式会社</b>			
単位 mm	第三角法				